

地上人類への最高の福音

「シルバ―バーチの霊訓」

祈り

(197)

この果てしなき創造機構の中にあつて……

ああ、真白き大霊よ。全生命の背後の崇高なる摂理にあらせられ、森羅万象を創造したまい、全大宇宙のあらゆる営み、あらゆる活動を制約し規制するための、永遠不変の法則を稼働なされた方として、わたしたちは、あなたという絶対的存在に思いを馳せるのでございます。

あなたの心は、ほかならぬその摂理を案出せる心であり、あなたの愛は、ほかならぬその摂理を維持している愛でございます。すべてはあなたに始まり、存在するものはすべてその淵源をあなたに発しております。すべての存在にあなたの霊が浸透し、したがって何一つ忘れ去られることがなく、何一つ等閑にされることがないのでございます。

あなたの崇高なる御業は、大自然の無数の美の広大なパノラマの中に見ることが出来ます。移りゆく四季おりおりの壮観と美の中に、あなたの崇高なる御業を見出すことが出来ます。絶え間なく、休むことなく機能している進化の法則の中にも、あなたの神性が反映しております。

しかし、あなたの神性の最大の顕現は、ほかならぬ人間の霊性の中に見出すことが出来ます。その最高の表現が、人のために己

を犠牲にする行為でございます。

あなたは、子等を永劫の絆によってあなたご自身と結びつけておられます。その絆は、切ろうにも切れるものではございません。人生のいかなる出来事、たとえ“死”といえども、子等をあなたから、あるいは子等からあなたを切り離すことはできません。生得の資質ゆえに、すべての叡智、すべての愛、すべてのインスピレーション、すべての知識の泉であるあなたと、常に結びついているのでございます。

わたしどもの仕事は、この果てしなき創造機構の中にあつて、地上の子等がその存在意義をより多く発揮し、あなたの道具として、あなたの御心を広め、あなたの真理を普及させる上で役立つ力を身につけるように指導することでございます。

その備えができてはじめて、弱き者に援助の手を差し伸べ、苦しむ者の心の支えとなり、挫けた者を救い、道を見失った者に指示を与え、飢えに苦しむ者に食べものを、住む家もない者に宿りを提供し、無知の支配するところに知識をもたらし、闇に包まれたところに光をもたらしてあげることが出来ますのでございます。あなたを知らぬ無数の子等があなたの存在に気づき、豊かな理解力をさずかる生き方を見出す、その力ギを手にならせてあげることが出来るのでございます。

物質の世界と霊の世界との間に横たわる障害を取り払い、あなたの道具を通して豊かなインスピレーションが絶え間なく地上へ届けられ、あなたの愛がふんだんに流入して、それを必要とする者に行きわたり、喪の悲しみの中にある人の涙を霊的摂理の知識によって拭ってあげる――それがわたしどもの仕事でございます。

ここに、あなたの僕インディアンへの祈りを捧げます。

祈り

無知という名の暗闇から生まれる恐怖心を追放し

……

ああ、大霊よ。あなたの無限なる知性は、この全大宇宙を案出なされた知性でございます。あなたの摂理は、絶え間ない日常の出来事の全パノラマを規制し統制している摂理でございます。あなたの霊力は、森羅万象を支える力でございます。あなたの無限なる霊は、物的存在に生命を賦与し、なканずく人間を、動物的段階から引き上げ、霊的自我意識をもつ存在の仲間入りをさせた霊にほかなりません。

わたしどもは、あなたを究極の摂理——不易にして不可変の絶対的法則として啓示いたします。その法則の外側で生じるものは何一つ有りえないのでございます。宇宙のすべての存在が、その法則の不変性に無言の讃辞を向けております。それに加えて、あなたの霊的領域においてより大きな生活体験を積み重ねてきたわたしたちは、生命活動のすべてを律している、ある者がゴッド（神）と呼び、わたしがグレイトスピリット（大霊）と呼んでいる霊力の働きの完全さに、感嘆の讃辞を贈ります。

わたしたちが地上に広げたいと願っているのは、地上生活のあらゆる側面を律しているその摂理についての知識でございます。あなたの子等は、それを理解することによって、あなたがふんだんに用意されている恩恵を存分に我がものとして、生き甲斐を実感し、みずからの手で平和の中で生きることのできる社会組織を創り出すことができるのでございます。

わたしたちは、人間の無知という名の暗闇から生まれる恐怖心を追放し、生命の大機構の中で占める“死”の真の意味を理解させ、内在する霊的可能性に目覚めさせ、本当の自我の無限の霊的資質を自覚してほしいと願っております。それが、人間とあなたの間、および全世界の人間どうしを結びつけている霊的な絆を知らしめることになるからでございます。

あなたの霊が地球全体を取り巻いております。あなたの神性の糸が全存在を貫いております。地上の人間は、誰であろうと、何者であろうと、いずこにしようと、絶対に断たれることのない霊的な絆によってあなたと永遠に結びついているのでございます。

子等とあなたとの間を取り持つ仲介者は要りません。大霊の分霊を宿すがゆえに、あなたが用意されている叡智と愛と知識と真理の無限の宝庫に、自由に出入りすることが許されるのでございます。

わたしたちの仕事は、人間の内奥に存在するその霊性を活気づけ、霊的資質を存分に発揮させ、子等があなたの意図された通りの生き甲斐のある人生を送るように導いてあげることでございます。

そうやって初めて人間は、その霊的責務を果たすことになりましょう。そうやって初めてこの病める世界を癒し、愛と善意を広める上で、同胞としての貢献ができるのでございます。

そうやって初めて人間は、それまであなたの真実の姿を見えなくしていた暗黒に永遠に別れを告げて、悟りの光の中で生きることができるようでございます。

あなたの僕インディアン^①の祈りをここに捧げます。

祈り

無用の悲劇に終止符を……

これより大霊の祝福を求めて、お祈りをいたします。変幻きわまりない生命現象の背後に控える摂理と目的とを、地上の子等に啓示するための仕事の一環として、わたしたちが知識と叡智と悟りを広めんとする努力は、大霊のご加護なくしては報われません。宇宙の大霊なるあなたは、これまで子等によつて誤解され続け、誤り伝えられてまいりました。復讐心を燃やし、血に飢え、犠牲を求め、ある者は可愛がつてある者は見捨て、限られた少数の者だけに恩恵を与え、自分に背を向ける大衆は無視する神として、恐怖の中で崇められてまいりました。

それに代わつてわたしたちは、あなたを生命の法則——不変・不滅の自然法則、悠久の過去より存在し悠久の未来へも存在し続ける摂理として啓示いたします。魂の働きを束縛する迷信という名のくさを解きほどこき、魂の目を見えなくしている目隠しを取り除き、魂の耳栓を取りはずし、心の扉を開いて、天命の全うへ向けての導き手となるべく、より大きな真理、より大きな叡智、より大きな視野を受け入れる用意を整えさせるのは、その知識を置いて他にないとの認識のもとに、その普及に尽力しているのでございます。

わたしたちは、大自然の摂理についての誤解が生み出す無用の悲劇に終止符をうち、当然の権利として人類が手にすべき平和と調和の障害となつてゐる、あらゆる専制的非道、理不尽な既得権、自己中心主義を排除したいと願つております。永いあいだ人類の

視野を曇らせ、調和と福祉と協調的生活の達成の障害となつてきた、無知という名の霧を晴らすべく努力いたしております。

わたしたちは、持てる力とインスピレーションと愛を、受け入れる用意のある者には惜しみなく授けます。いかなる差別もいたしません。子等が神と呼んでゐるところの父なるあなたの存在に触れて、あなたの聖なる力と叡智を我がものとなし、生活の中にそれを顕現させ、かくして無用の悲しみと悩みと苦しみで代わつて、新しい知識、新しい目的、新しい悟りの中で暮らすことになつてほしいと、ひたすらに祈るものです。

祈り

美と愛らしさ優雅さと壮麗さとを……

大靈よ。わたしたちは、ひたすらにあなたの有るがままの姿を説き明かさんと努めております。子等が、あなたについての明確な概念を捉えるのを永きにわたって妨げてきた、虚偽と紛^{まが}い物と誤解のすべてをはぎ取ってしまいたいからでございます。

子等が自分とは何であるかを知るためには、全生命の背後に控える靈力を認識し、それとのつながりを理解しなければなりません。それは人間的な激情や煩惱に動かされる「神格化された人間」ではございません。一民族の守護神ではございません。エホバ神ではございません。自分のお気に入りの者だけを可愛がる、えこひいきをする神様ではございません。

あなたは宇宙の大靈におわします。根源の第一原理であり、全生命の命運の究極の裁決者であり、王の中の王であり、完全なる愛と叡智の権化^{ごんげ}にあらせられます。あなたこそ、この全大宇宙を創造し、その活動のすべての側面を細大もらさず規制する法則を始動なさった方でございます。

あなたは宇宙の全生命に配剤しそして指導する大精神です。あなたは、人間もいずれあなたと同じ完全なる存在へ向けて向上し進化していくことができるように、あなたと同じ生命を賦与なさった大靈にあらせられます。

そのあなたとあなたの摂理とをわたしたちが啓示せんと努めるのは、この宇宙という靈的機構の中にあつて人類が占めている真実の位置と、その位置にあつて果たさねばならない役割とを、包

括的に理解する必要があるからでございます。

あなたは人類をどう猛な四つ足の段階から引き上げ、あなたの分靈を授けることによって神性を賦与し、あなたのご計画の推進に参加できるようになさいました。

人間には、その授かりものを有効に使うべしとの、あなたのご意志が託されております。すなわち内部の靈性を發揮することによつて地上に美と愛らしさと優雅さと壮麗さとをもたらし、地上のすべての子等が等しくその豊かな恩恵に浴することができるような環境にしなければならぬのでございます。

暗黒も残酷も、貪欲も強欲も悪徳も、地上には無用のものです。そうした悪性腫瘍は、あなたがお授けくださった靈力を行為に移すことによつて、すべて取り除くことができるのでございます。

わたしたちが労苦をいとわず地上圏で精励するのは、ほかならぬその靈の威力を子等に実感させるためでございます。その体験を通じて、この地上にあつても天国の美を味わい、墓の向こうに待ちうける、絶対的な宿命としての靈の世界に備えることができるのでございます。

ここにあなたの僕インディアン^{インディアン}の祈りを捧げます。

祈り

暗闇から光明へ……

ああ、大靈よ。わたしたちは、あなたの無限の叡智、無限の知識、無限の愛を、ささやかな形ででも啓示できればと心を砕いているところでございます。

過去幾世紀にもわたって、開けた洞察力に富む者たちは、目に見えざる、より大きな、より充実せる、より深き生命の界層を垣間見て、それをその時代の言語と慣習と特色の中で表現してまいりました。

いつの時代にもあなたの永遠の真理の証言者、靈力の存在に気づいた者がいたのでございます。ほかならぬその靈力によって鼓舞され、細やかにして微妙・靈妙なる靈波の存在を悟ったのです。しかし、地上的条件の必然の結果として、そのいずれもが人間の浅知恵によって着色され、夾雑物の下敷きとなってしまうしました。

そこで又しても、あなたの僕たるわたしどもは、あなたのメッセンジャーとして、同じ永遠の真理を、こんどこそ汚れない形で啓示せんとしております。一時期だけの特別の計らいとしてではありません。歴史的事件としてではありません。奇跡的現象としてではありません。あなたの自然の摂理の一環として啓示せんとしているのでございます。

物質界の彼方に広大な靈の世界が存在する事実を知らせたいのでございます。その世界では、同じくあなたの子等が、向上と進化を重ねた末にいよいよ叡智の始源に近づき、それまでに獲得

したものを、受け入れる用意のできた者に分け与えたいと望んでいるのでございます。

かくして地上には今、そうした靈界からの働きかけに反応する者、靈的な光明と知識と慰安と力と導きを広めるための道具たらんとする者が増えつつあり、今後ともますます増え続けることでしょう。わたしたちはぜひともこの任務を遠く広く遂行し、恵まれぬ人々へ手を差し伸べるための手段となってくれる者を、一人でも多く靈力の影響下に引き寄せたいと願っております。

わたしたちの目には、心を苦痛と不安で満たされ、悲しみの涙で目を曇らされ、苦悩を背負い、孤独を味わい、暗くうつとうしい地上世界には希望も慰めもないと思ひ込んでいる人々の姿が見えます。

わたしたちがメッセージを届けるのはそういう人たちです。そういう人たちこそ、その魂に感動を与えてあげ、あなたの無限の摂理と愛と力への確信をもたせてあげ、自分が決して忘れ去られていないこと、あなたの王国ではすべての子等に豊かな配慮がなされていることを確信させてあげたいのでございます。

わたしは今その仕事に献身し、地上にあって、同胞を苦しみから救い、不安を和らげ、喪の悲しみの中にある人を慰め、暗闇から光明へと導かんとしている同志とともに、手を取り合っているものでございます。

祈り

偽りの神・偽りの教義・偽りの神学に背を向け：

：

これよりわたしは、古^{いにしえ}の予言者を鼓舞し、聖賢や先見者に叡智の輝きに満ちた未来図^{むみょう}を見ることを得さしめたのと同じ力を呼び寄せ、人間の無明^{むみょう}の心に光明と悟りを与え、迷いを払うべく、完全なる摂理として働くあなたに、深甚^{しんじん}なる感謝の祈りを捧げます。

わたしもが改めて地上に甦^{よみがえ}らせたいのは、人間生活を一変せしむるほどの威力、人類を変身せしむるほどの威力を秘めた靈力でございます。それが人間に、あなたの永遠の機構の中で占める位置を理解せしめ、改善と改良と奉仕のために働き、挫折せる者を救い、無力なる者を援助し、飢えに苦しむ者に食を与え、弱き者に力を与え、人類の呪い^{のろ}であり文明の汚点である不平等と不公正のすべてを排除すべく、子等に力と勇氣と目的意識とを与えてくださるのでございます。

わたしたちは、地上の子等が偽りの神・偽りの教義・偽りの神学に背を向け、あなたの真理の光に導かれて普遍的な宗教を打ち立てることができるように、すなわちあなたを人類全体の父として認識し、人類はすべてあなたの子であるとの理解のもとに、こぞってあなたを崇拜することになるように、あなたの真の姿と彼ら自身についての、より充実せる理解が得られる道へ手引きしたいのでございます。

子等の団結の妨げとなるもの全てを排除したいのでございます。

階級の差別、肌色の違い、民族の違いによる分裂をなくし、人間のこしらえた障壁を崩し、新しい光、新しい希望を物質界にもたらしたいのでございます。

同胞の高揚のために心を砕く各界の先駆者や改革者を鼓舞し励まし、彼らが高き靈の世界から導かれていること、その努力には大靈の祝福があることを知らしめたいのでございます。

かくしてわたしどもは、子等を少しでもあなたに近づかしめ、あなたを子等に近づかしめるべく、祈り、そして刻苦するものです。

祈り

地上各地に靈の神殿を設け……

ああ、大靈よ。全生命の無限なる始源にあらせられるあなた。全宇宙を創造し、形態を与え、それぞれに目的を持たせ、その全側面を経綸したまうあなた。そのあなたの分^{わけ}靈^{たま}をうけているわたしたちは、その靈性を高め、目的意識を強め、あなたとの絆をさらに強く締め、あなたの叡智、あなたの愛、あなたの力でみずからを満たし、あなたの道具として、より大きくお役に立ち、あなたの子等のために尽したいと願うものでございます。

わたしたちは、地上人類に実り多き仕事の機会をもたらず靈的な安らぎと和の雰囲気を回復させ、そのエネルギーを全世界へ福利と協調の精神を広めるために用い、空腹と飢餓、苦悩と悲哀、邪悪と病氣、そして戦争という惨劇を永遠に排除し、すべての者が友好と親善の中で生活し、あなたが賦与なされた資質の開発に勤しみ、かくして一人ひとりが全体のために貢献するようになることを願っております。

わたしたちは子等の一人ひとりに潜在しているあなたの神性を呼び覚まし、それを生活の中に自由闊達に顕現せしめたいと念願しております。その神性にこそ、始めも終わりもない、無限の目的と表現をもつ、靈力の多様性が秘められているのでございます。

人間がチリとドロからこしらえられたものではなく、あなたの分靈であることを理解し、その目的のもとに生活を律していくためにも、その靈的資質を甦らせてあげたいのでございます。

愛と理解とをもって悲哀と無知とを追いつ、人間みずからこ

しらえてきた障害を破壊することによって、生命と同じく愛にも死はなく永遠であることの証を提供したいと望んでいる高き世界の靈が、自由にこの地上へ戻ってこられるようにしたいと願っているのでございます。

地上の各地に靈の神殿（交靈の場）を設け、高き界層からの導きとインスピレーションと叡智と真理が存分に届けられ、人間が人生の目的、物質界に存在することの理由を理解し、宿命的に待ちうける、より高き、より充実せる生命活動の場にそなえて、靈性を鍛えることができるようになることを願うものです。

あまりに永きにわたって靈性を束縛してきた無知と迷信への隷属状態から人間を救い出し、靈的にも、精神的にも、身体的にも自由を獲得し、あなたの意図された通りの生き方ができるようになって欲しいのでございます。

祈り

人生の本来の在り方としての大冒険に……

ああ、大靈よ。わたしどもは全生命を支える力に波長を合わせ調和せんとする努力の一環として、ここに祈りを捧げさせていただきます。

わたしたちはその力の背後に、絶対的な支配力をもつ知性の存在を認識しております。それは、人間的形態をそなえたものではございません。全大宇宙のありとあらゆる側面の活動を規制する絶対的な摂理でございます。いかなる側面を研究しても、いかなる秘密を掘り起こしても、いかに高く、あるいは、いかに深く探求のメスを入れても、そこにも必ず摂理が存在するのでございます。

新たに見出されたものも、必ずあなたの自然法則の枠組みの中に組み込まれていたのでございます。その意味において、超自然的現象も奇跡的現象も生じ得ないのでございます。法則と秩序によって規制され、その全パノラマがあなたの聖なる靈に抱かれているのでございます。

その靈こそ生命の根源であると認識するわたしたちは、地上の子等にその靈という実在と、その背後の靈的摂理に目を向かしめたいと願っております。その作用を理解することこそ、この物質の世界に新しい光、新しい悟り、新しい希望をもたらす素地となるのであり、それが地上世界を豊かにするのでございます。

地上の多くの人間がそうした靈的実在の素晴らしさと喜びに全く無知のまま、せっかくの人生を無為に過ごしております。その知

識があれば、悲哀の多くを無くすことができます。喪の涙を拭うことができます。心の痛みを取り除くことができます。肩の荷を軽くすることができます。確信と目的意識をもって、人生の本来の在り方としての大冒険に、より賢明に備えることができるのでございます。

それ故にこそ、わたしどもは受け入れる用意のできている人たちのために靈的知識を広め、自分が一人ぼっちでいることは片時もないこと、靈の力の宝庫はいつでも誰にでも出入りできること、崇高なる愛が万事を良きに計らってくれるとの知識から、新たな生きる勇気を得てくれることを望むものです。それがわたしどもの仕事なのでございます。

ここに、あなたの僕インディアン^①の祈りを捧げます。

祈り

無限にして無尽蔵の靈の宝庫を……

大靈の恩寵^{おんちゆう}が皆さまがた全てに下されますように！

これより皆さんとともに、全生命を生みたまい、その全側面を愛の抱擁の中に収めたもう崇高なる力に向けて、心を一つにいたしましょう。

ああ、大靈よ。わたしたちはあなたについて語らんと欲し、お粗末な表現ながらも、この果てしなき宇宙のすみずみまで浸透せるあなたの崇高さ、あなたの神性、あなたの絶対的法則を啓示するための言葉を探し求めております。

心を恐怖で満たされ、精神を不安で曇らされている男女が、あなたに至る道を知り、あなたを見出し、そして万事はよきに計らわれていること、あなたの配剤に間違いはないとの確信を得ることができますように、わたしたちがあなたの豊かな宝のいくつかを明かしてあげたいのでございます。

これまであなたの真実の姿、一分の狂いも休むことも弱まることもなく働く、完全なる法則としてのあなたを理解することを妨げてきた偽りの教義、愚かな間違い、無知と誤解のすべてを取り払うのも、わたしたちの仕事の一環でございます。わたしたちの目に映る宇宙は、生物であろうと無生物であろうと、ありとあらゆる存在にあなたの配剤があり、同時に、そこに生じるあらゆる事態にも十全なる備えがなされているのでございます。

あなたの目の届かぬ所は一つとしてございません。秘密も謎もございません。あなたは全てをご存知です。なぜなら、全てはあ

なたの法則の支配下にあるからでございます。わたしたちが指摘するのは、その法則の存在でございます。無窮の過去より作用し、これからも永劫^{えいこく}に作用し続ける摂理でございます。

地上の子等がその摂理と調和した生活を送ることによって、すべての暗黒、すべての邪悪、すべての混乱と悲劇が消え、代わって光明が支配することになります。

愛に死はなく、生命は永遠であり、その不滅の愛によって結ばれている者は、墓場で別れ別れになることはないこと、愛が求め合い靈力が働くところには、乗り越えられない障害も、取り壊せない障壁もないことを教えてあげるのも、わたしたちの仕事の一環でございます。

各自がその靈性を磨き、天命として与えられている役割を果たす段階に至るのを待ちうけている、無限にして無尽蔵の靈の宝庫を子等に明かしたのでございます。

ここに、己を役立てることを求めるあなたの僕インディアンの祈りを捧げます。

祈り

あなたの目の前に人類は一つ……

これより皆さんとともに、可能ながぎりの最高のものを求めて、お祈りいたしましょう。

ああ、大霊よ、わたしどもは、あなたを有るがままの姿、広大なこの大宇宙機構の最高の創造主として、子等に説き明かさんとしております。あなたは、その宇宙の背後の無限の精神にあらせられます。あなたの愛が立案し、あなたの叡智が配剤し、あなたの摂理が経綸しているのでございます。

かくして、生命現象のあらゆる側面があなたの摂理の支配下にあります。この摂理は可能ながぎり、ありとあらゆる状況に備えたものであり、一つとして偶発の出来事というものは起きないのでございます。

あなたはこの宇宙に、あなたの神性の一部を宿した個的存在を無数に用意なさいました。その神性があればこそ、崇高なるものを發揮することができるのでございます。その神性を宿せばこそ、すべての人間はあなたと、そして他のすべての同胞と靈的につながっていることになるのでございます。民族の別、国家の別、肌の色も階級も教義も超えて、お互いに結ばれているのでございます。あなたの目の前に人類は一つなのです。

誰一人として忘れ去られることも見落とされることもございません。誰一人として無視されることも、あなたの愛が届かぬこともございません。孤独な思いに沈むのは、あなたの絶妙な摂理というものが存在し、心がけ一つで誰でもその恩恵にあずかること

ができることを知らぬからにほかなりません。

子等が霊の目と耳とを開きさえすれば、高級界からの美と叡智と豊かさとは、ふんだんに注がれるのでございます。その高級界こそが、すべてのインスピレーション、すべての啓示、すべての叡智、すべての知識、すべての愛の始源なのでございます。

わたしたちの使命は、子等に内部の神性と靈的本性に気づかせ、地上はいつときの仮住まいであって、永遠の住処^{すみか}は靈界にあること、地上生活の目的は、そうした崇高なる靈的起原と誉れ高き宿命に恥じないだけの靈格を身につけることであることを理解せしめて、しかるべき導きを与えることでございます。

ここに、あなたの僕インディアン^{インディアン}の祈りを捧げます。